

## 「東京都豪雨対策検討委員会」（第２回） 議事要旨

- 日 時：令和４年 11 月 11 日（金） 午後 1 5 時 0 0 分から  
■場 所：東京都庁第二本庁舎 1 0 階 一般会議室 2 0 7 ・ 2 0 8

### 検討委員会（第一部）での主な意見

#### ○ 近年の豪雨被害とその影響について

- ・ 複合災害について、内水・外水の同時発生のほか、二次災害として有害物質の流出も問題視されている。このような二次災害は、産業の衰退などの悪いサイクルを引き起こす可能性があり、議題となり得る
- ・ 東京の洪水等災害への対応は世界的に見ても低いレベルに位置付けられている。そのイメージによる風評的被害もあり、これまで全国で氾濫が発生するとその場所では中小企業の廃業や大学の撤退等が生じ、若者がいなくなることが起きている

#### ○ 気候変動を踏まえて想定される課題の整理について

- ・ 線状降水帯は日本中で散見されるようになっている。平成 27 年関東・東北豪雨にて鬼怒川が氾濫した際、常総市等で発生し、関東でも線状降水帯が発生することが示された

#### ○ 東京都の都市の性質について

- ・ 資産の集積という観点で見ると事前に対応できる対策がある

#### ○ 既存施策の整理について

- ・ 既存施策の取組について、どこで何がどの程度行われ、伸び代がどれ位あるか知ることが有効